

HITACHI

HITACHI TECHNICAL COLLEGE

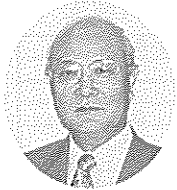
NEWSネット

HITACHI
Inspire the Next

日工専同窓会報

2004年4月23日

第8号



「特別会員支部」立ち上げ準備委員会
取りまとめ責任者 石川 廣志

同窓会会報(5号)の記事にもありますように、「特別会員支部」発足立ち上げの為に準備委員会を設置し、新規会員の加入促進の働きかけをして参りました。

この度、6期生までを対象とした第一回目の会員新規加入促進の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

6期生までの対象者2,111名(茨専1,295名・京専816名)の内、既会員82名(茨専56名・京専26名)を除き、新規加入対象者2,029名(茨専1,239名・京専790名)から、住所不明並びに物故者を除いた1,618名(茨専1,043名・京専575名)に加入要請をいたしました。その結果、新規加入申込者数は340名(茨専210名・京専130名)ありましたが、一部会費の振込みが未だなされていない申込者がございますので、この方々を除き、平成16年2月23日現在の新規加入会員数は、318名(茨専196名・京専122名)となりました。したがって既会員79名(茨専53名・京専26名)と併せ「特別会員支部」会員数は、397名(茨専249名・京専148名)になりました(既会員数が82名から79名に減ったのは、その後の退会と物故者によるもの)。

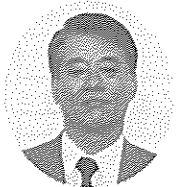
地区別には、関東地区が353名と圧倒的に多く、他地区は数名から十数名の会員構成になっております。また卒業期別に見ますと茨専が1期生49名で最大、5期生が34名で最小。京専が2期生44名で最大、4期生14名で最小の会員数となっております。

今年に入りますと(平成16年4月以降)、7期生の一部の人達が60歳に達することから、さらに会員の増加が見込まれること、加えて学院草創期に比較、学院生が減少傾向にあることから、日工専同窓会における「特別会員支部」会員のウエイトも高まることと予想されます。したがって今後の支部の運営体制や方法についても、新たな模索、検討が必要と考えております。

今回の新規会員の加入を契機に「特別会員支部」の第一回目の総会並びに懇親会を本年の5・6月頃を目処に、加入会員の多い茨城の地にて開催することを計画しております。多数の参加者による盛大な会にしたいと考えております。

特別会員支部 会員数

	茨専	京専	計
既会員	53	26	79
新規会員	196	122	318
計	249	148	397



「日工専同窓会 今後のさらなる発展を」
2003年度 同窓会本部長
戸嶋 啓一

2003年度、本部長を勤めさせていただきましたが、同窓会活動を活発化することが重要と改めて認識しております。

日工専卒業生は1万人を超えています。日立グループ組織の再編、分社化、などから、会員所在把握が困難、連絡ルートの分断などが起こっています。

あわせて、1～6期生は会社生活を卒業しており、毎年、400名程度の会員が会社生活を次々と卒業することになり、特別会員が増加します。現状を再認識し、同窓会をいかに活発化するか本部役員のみならず、会員全体で考える必要があります。会員各位の前向きな提言を期待します。

1. 支部組織の明確化

現在80支部になっていますが、実質、活動している支部は半数強と思われます。残りの冬眠状態の支部を活発化することが同窓会活発化につながると思います。

2. 特別会員支部への支援強化

特別支部会員が大幅に増加すると予想され、この対応策を考える必要があります。

●報告事項

全国支部長会議にて懸案となっておりました、甲府支部(ルネサステクノロジ 甲府工場)の扱いですが、支部存続となりましたので、ご報告いたします。

●連絡事項

～特別会員支部ホームページ開設支援者募集～

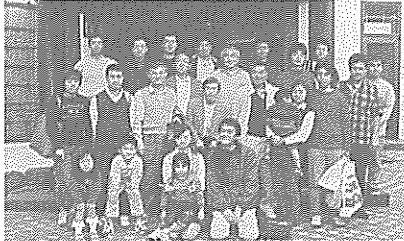
特別会員支部への連絡、会報送付を円滑にするために、ホームページを開設しようと思っています。ご支援頂ける方は、本部(戸嶋)までご連絡いただきたく。

連絡先:(ソフト)戸嶋 ダイアルイン:045-862-8592 内線:865-6364

支部活動報告

活動報告のありました(多)(つち)及び(ソフト)の活動を紹介します。各支部の活動を参考にいただき、今後も支部活動を大いに盛り上げていきましょう。

多賀支部 研修旅行(温泉&ビール工場見学)



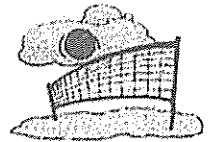
- ・日時：2003/11/8 (土)
- ・場所：向瀧温泉 (土湯温泉)
アサヒビール福島工場
- ・活動内容：研修旅行 (温泉&ビール工場見学)
- ・参加者：25名

温泉で仕事の疲れを取り、アサヒビール工場見学では美味しいビールを頂き、大変良い思い出となりました。

編コメント：ご家族も参加できる行事と言うことで、素晴らしい企画と思います。幹事の方はご苦勞もありますが、是非とも継続して実施してください。日工専ネットワークの更なる強化につながると思います。

土浦支部 スポーツ大会(ソフトバレー)実施

- ・日時：2003/11/8 (土)
- ・場所：ピュアネス 体育館
- ・活動内容：日工専同窓会 スポーツ大会 (ソフトバレー) 開催
- ・出席者：30名程度



4チームによるトーナメント戦を行い、各試合において白熱したプレイが見られた。スポーツ大会終了後は、土浦の杜に場所を移してバーベキューを行った。ビールや焼肉を味わいながら、交流を深めることができた。

編コメント：やはり、汗を流した後はビールですね。ソフトバレーであれば、老若男女関係なく楽しめるので、他の支部の方も実施してみてもは！！

ちなみに、(多)(つち)ともに11/8に実施しているのですが、何かつながりが???

ソフト支部 総会&懇親会実施

- ・日時：2003/11/28(金)
- ・場所：労組ソフト支部 組合会館
- ・活動内容：日工専同窓会 ソフト支部総会を開催
- ・出席者：50名程度

総会後の懇親会では、会社幹部の参加も頂き大変盛況でした。



編コメント：同窓会幹事事業所と言うことで、支部組織を立直しました。今後も支部活動を継続していきます。

45期生入学式

去る2004年1月8日、第45期生77名(電気・電子工学科：28名、機械工学科：14名、情報工学科：18名、管理工学科：17名)の入学式が、茨城大学工学部神永教授、(本)浜本教育企画部長、(日)山田事業所長をはじめ、多数の事業所幹部にご列席を賜り厳かに挙行されました。入学生に対し学院長から次の通り告辞がありました。

- (1) 勉学に打ち込み、将来の土台となる技術力を身につけること。
- (2) 自己を律する習慣をつけること。
- (3) 生涯付き合える友を作ること。

電気・電子工学科		機械工学科		情報工学科		管理工学科		
事業所	氏名	事業所	氏名	事業所	氏名	事業所	氏名	
(火水)(日)	原田 浩平	(火水)(日)	伊東 康之	(情)	藤澤 洋介	(本)	山下 良二	
(交通シ)(笠)	徳永 和也		斎藤 翔一	(金融2)	峰松 新一	(日)	梶山 晃弘	
(交通シ)(水)	小林 知己		鈴木 寿治	(金融S)	野上慎太郎	(笠)	佐藤 雅広	
(電機シ)(国)	朝番 太		鈴木 健之	(情公共)	岡本さゆり	(情)	大田 雅美	
(電機シ)(日)	安井 秀樹		沼山 勝人		安藤 祐樹	(情)	廣岡 友行	
(都市)	瀧川 顕吾		(原子)(日)		川前 直彦	大野 慎吾	(情公営)	富田 真之
(情制シ)	岩橋 尚仁		(電機シ)(日)		小林 正典	小泉 卓也	(北海)	山下 信也
(デセ)	小野 祥孝		(都市)	大石 裕	(情制シ)	高橋 謙	(北陸)	菊池 将吾
	岡村 伸一		(AS)	先崎 浩史	(DS)	松下 雅史	(横浜)	細谷 賢治
	藤川 哲郎		(日立HT)那珂	鬼澤 茂樹	(東北)	小森 順一	(北陸)	山梨 浩一
(日立HT)那珂	石川 智	(日立HT)笠戸	菊池 貴朗	(日立HT)那珂	滝沢 修	(関西)	白石 高之	
	遠藤 康隆	(HIC)	橋本 広朗	(電サ)	葛西 未生	(HIC)	廣 健太郎	
	櫻井 祐喜	(日立DD)	加藤 勇樹		浅井 一真	(日立COM)	山浦 祐介	
	豊田 実		原田 優介		竹内 隆文	(HBS)	原田 倫江	
(HESCO)	仲村 邦彦				中村 新治	(サイエンス)	小林 竜彦	
(日立DP)	石原 博之			(日立超L)	森田 智之	(ルネサス)那珂	牛久 大輔	
	太田康一郎			(HBF)	若林 潤一		楡山 雄一	
	山口 豪				嶋海 毅			
(日立OP)	真木 鉄平							
(HBS)	山根 輝己							
	阿部 太郎							
	小野木貴浩							
	熊崎 弘之							
	横山 篤志							
(KEC)	赤津 雅弘							
(日立DT)	鈴木 皓祐							
(日本OP)	平井 将大							
(ルネサス)甲府	村田 健							

卒業生紹介 職場での、更なる活躍を期待!

去る2004年3月30日、第44回卒業式が、来賓をはじめ、多数の事業所幹部にご臨席戴き、挙行されました。卒業生の数は開校以来、11,816名を数えることとなりました。卒業生の職場での活躍を期待します。

1. 研究科生:6名

工学科名	氏名	事業所	工学科名	氏名	事業所
電気・電子	鈴木 裕一	(ルネサス)/珂	情報	楡川 博	(金融S)
機械	多田 茂也	(日立建機)	管理	藤川 裕明	(関東)
機械	橋本 洋範	(交通シ)/水	管理	楡 知広	(IPD)

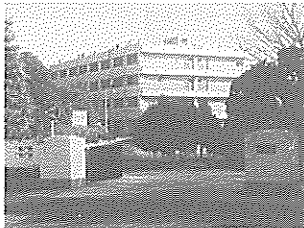
2. 本科生:79名

電気・電子工学科		機械工学科		情報工学科		管理工学科	
事業所	氏名	事業所	氏名	事業所	氏名	事業所	氏名
(HBS)	青柳 政博	(笠)(交通シ)	伊藤 浩一	(横浜)	板倉 真志	(HIC)	飯田 毅子
(情制シ)	岩崎 圭佑	(都市)	大木 佑志	(金融S)	伊與田高子	(日立COM)	大塚 陽子
(AS)	岩田 昇太	(火水)(日)	奥山 昇	(電サ)	奥村 崇	(ソフト)	菊地 正樹
(日立HT)那珂	遠藤 良二	(都市)	尾渡誠一郎	(情)	酒井 正志	(AS)	木村 仁
(日立HT)那珂	大沼 勝秀	(AS)	岸本 恭典	(金融2)	佐藤 健治	(HIMEC)	小岩井 博
(HIMEC)	大橋 都	(HIC)	木村 屋司	(情公共)	末松 広昭	(情)	坂本 和之
(日立H&L)/多賀	大森 義孝	(HIC)	久米 一幸	(情N)	田向 芳行	(ルネサス)	佐藤 勇輔
(日立HT)那珂	笠井 優	(都市)	黒澤 純一	(電サ)	野沢 喜八	(デセ)	篠田 雅文
(ルネサス)那珂	梶原 和人	(火水)(日)	古茂田 誠	(情報器)	橋本 明	(AEパワー)	高清水 聡
(九州)	木下 信	(原子)(日)	坂井 孝匡	(情公共)	長谷川雅之	(日立HT)笠戸	高橋 健二
(HBS)	小牧 広幸	(電機シ)(日)	篠崎 茂久	(電サ)	殿部 暁典	(情公営)	田村 彰弘
(日立H&L)/多賀	齋藤 晃	(HBS)	清水 健太	(電サ)	林 義之	(情)	徳田 航
(情/営)	佐々木信和	(原子)(日)	田代 礼	(電サ)	福田 弘法	(情CM)	平松 晃一
(ESD)	鈴木 裕之	(都市)	立山 博之	(日立GP)	富岡 高行	(日立COM)	藤岡 英孝
(HESCO)	関口 圭太	(AS)	永田 慎敏	(電サ)	村山 良彦	(ソフト)	満田 由香
(HBS)	滝澤 直人	(笠)(交通シ)	松田 一寿	(電サ)	守田 鉄朗	(電サ)	山浦 秀樹
(日立HT)那珂	森 尚徳	(情報器)	森 孝太	(情制シ)	山川 祐介		
(都市)	富田 篤	(日立建機)	守田 俊夫				
(日立HT)那珂	中居 高宏	(火水)(日)	森永 康介				
(情制シ)	中村 渉						
(デセ)	中村 孝晴						
(日立電線)	藤枝 蒼司						
(都市)	二川 英俊						
(日立電線)	前上 一						
(HBS)	松井 康作						
(日立H&L)/多賀	宗野 義徳						
(情制シ)	村元 哲治						

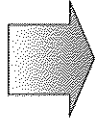
(注)事業所名は2004年3月31日時点のものです。

京専校舎ついに取り壊し

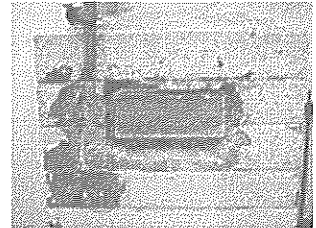
平成11年度にて日立京浜工業専門学院(京専)と日立茨城工業専門学院(茨専)が統合され、京専跡地は売却されましたが、昨年(2010年)の11月末に、ついに旧校舎が取り壊されてしまいました(既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが)。思い出の場所であり非常に感慨深いものがありますが、最後の記録として、本会報の紙面を借りて、お知らせを致します。



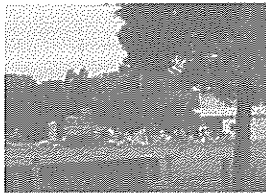
在りし日の京専校舎



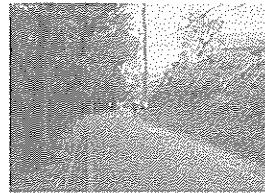
無残にも・・・



▲表札も剥がされ



▶ 養心館も



◀ 坂道の木々も切られ

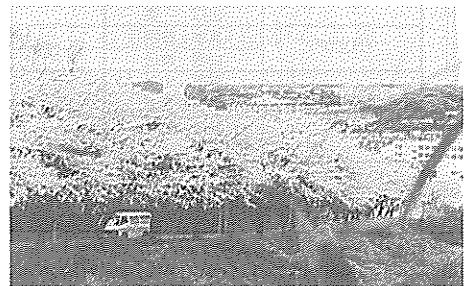
※今回は内容的に「まむし谷」ではなく「坂道」となりますが、ご容赦願います。

先日、ニュースで桜の開花予報を発表していましたが、桜で思い出すのは京専の「坂道」です。京専の「坂道」は、春になると道沿いの桜が一齐に咲き誇り、それはそれは見事なものです。

また、京専の「坂道」と言えば、まさに「行きはよいよい、帰りは怖い」という言葉がピッタシ当てはまる坂道でした。寒稽古のランニングでヘトヘトの状態最後に待ち受けるのが「坂道」、飲みに繰り出すとき意気揚揚として坂を下り、帰りにへべレケの状態待ち受けるのがやはり「坂道」。京専生を常に厳しく迎えてくれる「坂道」でした。

そんな「坂道」が唯一やさしい表情をするのが春の桜が満開になる頃です。当時は、「なんだよこの坂は!」と思うことも何度かありましたが、京専校舎が取り壊れた今、京専OBにとっての思い出の地は、もはやこの「坂道」しか残されていません。この春、桜が満開になる頃になったら久々に行ってみようかと思う今日この頃です。ただ、当時と違って体力的に上りきれぬ不安がありますが... (酸素ボンベ必須だなこりゃ)

29期情報工学科 板谷 孝



▲桜満開の坂道

編集後記

今年(2011年)は例年より桜の訪れが早く、本誌が届く頃にはすでにお花見を済ませた方も多いのではないでしょうか。桜の開花を追うように全国の支部へ戻っていった44期卒業生達も、職場の中核として元気に頑張っていることと思います。

さて、(ソフト)支部が日工専同窓会本部を前任の(HT)・(水)支部から引継いでから、早いもので一年が経過しました。その間皆様のご協力により、全国支部長会議や名簿の整備等本部としての各種活動を進めることができました。特に全国支部長会議は、横浜みなとみらい散策や中華街での懇親会等支部を飛び出しての開催となりました。本部役員一同初めての経験なので心配することばかりでしたが、参加者の皆様から多くの好評のお言葉をいただき、本部活動に弾みをつけることができました。本誌では、支部活動報告や卒業・入学の記事のほかに、旧(京専)校舎の取り壊しや跡地整備が進んでいることもあり、その様子を掲載しました。旧(京専)卒業生の方にはかなり衝撃的だったのでは。

会報は本年度も2回発行することができました。会報担当一同不慣れで始まり不慣れで終わってしまいましたが、2回お付き合いいただきありがとうございます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念しつつ、編集後記を終わります。

発行所

日立市西成沢町
日立工業専門学院内
日工専同窓会本部
編集人
同窓会報編集委員
発行人
(77)戸嶋 啓一

印刷所
(株)トーカイ

お知らせ：同窓会会報は<http://www.gakuin.hitachi.co.jp/ob/dosokai/>からも参照できます。

